

新たなステージへ



- 発行 行：QCサークル関東支部埼玉地区
2006年3月
- 発行責任者：小笠原 浩
- 編 集：30周年記念誌編集委員会
- 発行部数：500部
- 印 刷：新高速印刷株式会社

QCサークル関東支部埼玉地区 三十周年記念誌

目次

contents

30周年に寄せて..... 1

序にかえて QCサークル関東支部埼玉地区 地区長 小笠原 浩 / 1

祝 辞 埼玉県知事 上田 清司 / 2

祝 辞 埼玉県経営者協会 会長 原 宏 / 3

祝 辞 QCサークル本部 本部長 米山 高範 / 3

祝 辞 QCサークル関東支部 世話人 谷口 博保 / 4

祝 辞 QCサークル関東支部 支部長 大田 晋吾 / 4

あいさつ QCサークル関東支部埼玉地区 名誉世話人 安藤 之裕 / 5

あいさつ QCサークル関東支部埼玉地区 世話人 本多 康夫 / 5

QCサークル関東支部埼玉地区30年のあゆみ..... 6

QCサークル関東支部埼玉地区 相談役 中村 雄

QCサークル活動と私の成長..... 11

富士電機機器制御株式会社 クリーンアップサークル 吉原 広伸 / 11

株式会社 コーセー さくら草サークル 早坂 光江 / 12

フジノン株式会社 ひまわりサークル 吉澤 延子 / 13

「新たなステージへ」QCサークル埼玉地区 14

2005年度会員会社一覧 (2005年度12月現在) 16

歴代地区長会社・役員・指導員一覧 (2001年～2005年) 17

歴代幹事会社・幹事一覧 (2001年～2005年) 18

2005年度幹事紹介・編集委員紹介・編集後記..... 19

表紙： [画] 有賀 正俊 東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社
 [字] 中園 実季 株式会社 コーセー 狭山事業所

2005年度幹事のご紹介



2005年度 第1回幹事会にて

編集委員の紹介

奥田 一夫	大崎電気工業株式会社 埼玉事業所	大熊 三男	富士重工業株式会社 産業機器カンパニー
藤沢 誠一	元大崎電気工業株式会社 埼玉事業所	井上 勝	//
根岸 達雄	富士電機機器制御株式会社 吹上事業所	西岡 妙子	//
木村 茂	//	小林 和浩	//
小泉 洋子	//	内山 成弘	東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社
中村 雄	元有限会社 エコール・ド・スカイ	有賀 正俊	//
須藤ゆかり	株式会社 コーセー 狭山事業所	小高 正行	//
中園 実季	//	松藤 久志	株式会社 安川電機 入間事業所
		安部 晴雄	//
		安本 貴代	//

● 編集後記 ●

今回埼玉地区30周年記念誌の編集に携わる事により、これまでの先輩方の努力や苦勞、多くの方々の協力に支えられて来たことがあらためてよく理解できました。

この活動は、企業や個人のボランティアによって成り立っている一つの社会貢献活動です。今後、この活動に共感し、一緒に歩いていく仲間が一人でも増えるよう期待しております。

最後に、皆さまのご協力のお陰で、この記念すべき年に幹事長を無事努めることが出来ました。心から感謝いたしております。有難うございました。

2005年度 幹事長 松藤 久志 (株式会社 安川電機)

30周年に寄せて

序にかえて

QCサークル関東支部埼玉地区
地区長 **小笠原 浩**
(株式会社 安川電機)



この度、QCサークル関東支部埼玉地区は発足30周年を迎えることが出来ました。これは今まで熱意を持って取り組まれてこられた賛助会員の皆さまや、本活動を共に支えて来られた幹事・指導員の方々のたゆまぬ努力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

また、QCサークル本部、関東支部の皆さまや、埼玉県、埼玉県経営者協会の皆さまの、多大なるご支援、ご指導のお陰であり、厚く御礼申し上げます。

埼玉地区は1976年北関東地区より独立し、諸先輩方のご努力と様々な工夫により発表大会、研修会など有意義な活動を今日まで続けてくることが出来ました。

振り返れば、社会・経済の情勢でも、QCサークル活動においても、私たちは発展の時代から苦難の時代を経験し、多くのことを学んで来ました。中でも特に重要なことは、『常に変化の先端に立ち、学び、行動を変えていく』ということではないでしょうか？ これはまさに『進化したQCサークル活動（e-QCC）ビジョン』につながるものだと思います。

近年、ようやく景気も上昇の時を迎え、多くの企業が活発な動きを展開されております。

そして、その発展を根底から支えるものとして『QCサークル活動』に取組み、『現場力の向上』を成し遂げている企業、団体が増えてきたことは大変喜ばしい事です。

この度、これまでの活動を振り返り30周年記念誌『新たなステージへ』を発刊いたしました。

本記念誌が皆様の活動に少しでもご参考になれば幸いです。

今後、埼玉地区では『e-QCCビジョン』を尊重し、幅広く皆さまのお役に立てる活動を展開していきたいと考えております。今後もより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

お祝いの言葉

埼玉県知事 上田 清司



このたび、QCサークル関東支部埼玉地区が発足30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

この30年間、日本は「成長社会」から「成熟社会」へと移行し、企業を取り巻く経営環境にも大きな変化が生じています。こうした中、皆様方のQCサークル活動は、現場の第1線で働く人々による品質改善等の取組を通じて、埼玉の産業の発展、引いては、日本経済発展の原動力の役割を果たしてまいりました。これまでの長年にわたる、皆様の熱心な活動に、心から敬意と感謝の意を表します。

埼玉県には、豊富な人材、多彩な産業の集積、整備された交通基盤など、非常に高いポテンシャルがあります。私は、このポテンシャルを最大限活かして「ゆとりとチャンスにあふれる埼玉」をつくっていきたいと考えています。

皆様方には、今後ともQCサークル活動を通じて研鑽を積み、企業の発展に貢献されますよう期待申し上げます。そして、この埼玉県の元気と魅力を高めるために、是非とも御協力くださるようお願い申し上げます。

結びに、QCサークル関東支部埼玉地区の皆様のみずみずの御活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。



社団法人 埼玉県経営者協会
会長

原 宏

QCサークル埼玉地区30周年祝辞

QCサークル埼玉地区の創立30周年を心よりお祝い申し上げます。この間各地区で開催されたQCサークル活動発表会などは、全国で4,700回を優に超えておられると伺っております。各企業や団体でのひたむきかつ堅実な活動が、一つ一つ積み重ねられた結果でございまして、関係者の皆様のご努力とご功績に対しまして、衷心より敬意と感謝を表する次第でございます。

さて、企業を取り巻く環境変化は激しく、企業経営は変革が迫られております。企業は、競争力を強化するための戦略、すなわち研究開発は勿論、職場単位での改善活動や生産性向上、更には、労使を含めた関係者間での緊密なコミュニケーション活動など、「知的熟練」と「現場力」を重視した戦略を展開する必要がございます。まさに、QC活動の果たす役割は、一層、高まっております。

どうぞQCサークル埼玉地区の皆様におかれましては、日本の伝統である「ものづくり」、そして「現場力」の強化をめざした活動を展開され、更なるご発展を続けられますようご期待申し上げます。



QCサークル本部
本部長

米山 高範

創立30周年に寄せて

QCサークル埼玉地区創立30周年おめでとうございます。埼玉地区は創立当初から、地域企業と密接な連携をとりながら先進的な活動を続けてこられました。30年の歴史の中では、難しい環境条件もあったと思いますが、歴代の地区長及び役員の皆様の熱意とご努力が立派な実績を築かれました。

さて、QCサークル本部では、「進化したQCサークル活動(e-QCC)」の推進を提案し活動を続けています。

これは、職場の環境変化に対応して活動の進め方を見直すこと、そして、何よりも働く人たちの「個」の価値を高めようとする活動です。特に、平成18年度からはQCサークル本部と各支部・地区がそれぞれに具体的な課題を掲げて実効のある活動を進めたいと考えています。

全国のQCサークル活動が職場の現場力を高め、企業活動の基盤づくりに貢献することになります。埼玉地区も「新しいステージへ」向けて新しい歴史を作られると思います。ご活躍を心からお祈りいたします。



QCサークル関東支部
世話人

谷口 博保

(住友建機株式会社 代表取締役社長)

祝辞にかえて

QCサークル関東支部埼玉地区のみなさん、地区発足30周年を迎えられ誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。この間、歴代の地区長はじめ関係各位の献身的なご尽力に深く敬意を表します。

さて、今日の企業を取り巻く環境は大きくしかも急激に変化しています。第一線職場においても、職場構成員の変化、職場の移動・統合・廃止、商品開発サイクルの短縮に伴う生産ラインの頻繁な切り替え、新商品の対応などさまざまな変化が起きています。QCサークル活動もこのような、職場の環境変化に対応した柔軟な活動が求められています。

QCサークル本部においても、2002年以来、「e-QCC（進化したQCサークル活動）」を提案し、次の3つのビジョンを掲げて活動を展開しています。（eはevolution：進化）

- 1) 「個」の価値を高め、感動を共有する活動
- 2) 業務一体活動のなかで「自己実現」を図る活動
- 3) 形式にとらわれない、幅広い部門で活用される活動

QCサークル活動も従来の延長線上の進め方だけでは決して長続きしません。活動の形や進め方など工夫・改善していく必要があります。今までの活動を変えるべきところと、変えてはいけないところをよく見極めて推進する必要があります。

また、最近では「現場力」の低下が懸念されていますが、職場第一線の一人ひとりが成長し、組織能力を高め、企業に貢献するQCサークル活動は、現場力向上に役立つ最良のツールとして期待されています。

このような期待に応えるためには、一人ひとりが創造性を発揮し、スピードのある活動で自己実現を図りながら変化に強い元気な職場づくりを目指して頂きたいと思います。

埼玉地区が時代の変化に対応した活動で、さらに活性化するためにリーダーシップを発揮されることを期待します。



QCサークル関東支部
支部長

大田 晋吾

(株式会社 小松製作所)

祝辞にかえて

QCサークル埼玉地区創立30周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。創立時から現在に至るまで、諸先輩や関係者の皆様の献身的なご尽力に対しまして、心から敬意を表します。

21世紀の日本の経済・社会が活力を持ち、持続的な発展を確保するには、企業・個人が持てる能力をフルに活かすことが重要です。そして職場第一線でのQCサークル活動は、日本的“モノ作り”や“現場力”を強くするために必要不可欠であります。どこの職場でも、人材育成や企業体質改善につながるような改善活動に大きな期待が寄せられております。

今後も創立当初の初心にかえり、私達はQCサークル本部や支部・地区が一緒になって、さらにQCサークル活動の活性化に向けて、積極的な支援に努力していかねばならないと考えます。

「継続は力なり」と言われますが、創立30周年を機に、皆さんがこれからも活発な活動を展開されて、変革の時代に適したQCサークル活動の新しい歴史を作られることを祈念いたします。

社会のインフラとしてのQCサークル埼玉地区



QCサークル関東支部埼玉地区
名誉世話人

安藤 之裕

(財団法人 日本科学技術連盟)

いよいよ、QCサークル埼玉地区も設立30周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、これまで当地区を設立し継続されてこられた諸先輩や現役の皆様のご努力の賜物と敬意を表します。

また、タイミングも良く、「失われた10年」と言われ続けてきた厳しい経済環境もやっと好転の兆しを見せ始め、長期低落傾向にあったQCサークル活動にも明るさが見え始めてまいりました。

しかし、ここで、安心して気を緩めることなく、本来、QCサークルとは何なのか、埼玉地区とは何のために有るのかという本質を問いなおしながら活動をすすめることが重要ではないかと思えます。青臭いことを言って折角のお祝いの雰囲気をしらけさせてしまうようで恐縮ですが、社会の公器としての企業としての本質を見失い、目先の利益の追究のみに走った企業が社会から指弾され、その存続さえも怪しくなっているという実例が多発していることを見ると、やはり、常に社会全体に目を開き、本質・基本を大事にするという姿勢の重要性を再認識しております。

それでは、埼玉地区の存在意義の本質とは何なのでしょう。私は、埼玉におけるQCサークル活動の基本理念を実現させるための、社会基盤（インフラストラクチャー）であると考えています。すなわち、企業の存立・発展のための社会基盤として、道路や橋、ガス、水道、電気などと同様に、QCサークル活動に関する交流の場が絶対に必要であり、それを維持発展させることは、社会的に大変意義のあることだと考えております。

QCサークル埼玉地区は、そのように意義の深い活動を30年間続けてまいりました。この節目に、再度その社会的意義を再確認し、今後の継続発展を期したいと存じます。

キュウジンのコウにイッキを



QCサークル関東支部埼玉地区
世話人

本多 康夫

(社団法人 埼玉県経営者協会 副会長)

「キュウジンのコウをイッキにかく」？

たまに耳にするこの言葉は、ナンだろう？

「九陣の功を一気に欠く」つまり、<沢山の戦いで打ち立てた手柄も、最後に手を抜くと一気に地に堕ちてしまう>事かな、と思うと、これが大違い。昔のジン（切）という尺度単位の九倍の高さまで、頑張ってモッコ（箕）で土を盛り上げ、区切りの良い十切まで、あと一箕のところまで力尽きた時のもったいなさ、挫折感、これが、その意味するところで、「九切の功を一箕に欠く」が原意なのと言う。

QCストーリーの文法でこれを見てみると、九切まで出来たのにナゼ次の一切が続かなかつたかを分析することが大事である。そこを押さえれば、「九切の功も一箕に欠く」という教訓として標準化が可能になる。

埼玉地区のQC活動は、30年という永きに亘る諸先輩のご努力で、九切の功が積み上がった。残りの一箕はこれからの世代に期待されるところ大である。

QCサークル関東支部埼玉地区30年のあゆみ

埼玉地区は山あり谷ありの中を30年間賛助会員会社の皆様と共に力を合せてQCサークル活動の発展に努めてまいりました。

まず、発足当時に埼玉地区の礎を築いたのが、馬場（三菱電線工業）・村上（東芝）のお二人でした。当時は、関東支部北関東地区（東毛・西毛・栃木・埼玉）として活動していたところで、昭和49年3月熊谷でのPR大会を契機に両氏は独立ブロック組織を計画しました。色々な名簿からQCサークル活動に協力してくれそうな会社29社を訪問し、そのうち14社が準備委員会に参画してくれました。この熊谷大会での準備委員会が地区発足のスタートと言われており、両氏の行動力のお陰と感謝しております。

こうして1976年（昭和51年）埼玉地区が誕生し、30年に渡る活動が始まったのでした。これまでを振り返ると10年単位で大きく3つの時代に分けられます。

①地区発足から基礎固めの時代 ②地区飛躍の時代 ③地区変革の時代 です。

以下、それぞれの時代で心に残るシーンをご紹介します。



QCサークル関東支部埼玉地区
相談役

中村 雄

●●● 埼玉地区発足から基礎固めの時代 ●●● (1976年～1985年)

年 度

主な活動

目で見える主な行事

1976年

- ・北関東地区（群馬、栃木、埼玉）が3地区に独立。
- ・自力運営に苦労したが様々な工夫をした。

- ・発足大会開催
- ・呼びかけ大会開催
- ・幹事ガイドブック作成



第588回躍進大会 熊谷会館



第609回発表呼びかけ大会 越谷福祉会館

年 度

主な活動

目で見える主な行事

- 1977年
 - ・ 表彰大会独立開催
- 1978年
 - ・ 発展大会開催
 - ・ 安全衛生大会開催
- 1979年
 - ・ 地区選抜大会開催
 - 地区初全日本選抜大会金賞
(ぺんてる(株)りんどうサークル)
- 1980年
 - ・ 地区を3ブロックに区分
- 1983年
 - ・ 地区規定、審査表彰規定整備
- 1984年
 - ・ 賛助会員会社のニーズに応えた間接大会開催（半日）
- 1985年
 - ・ 間接大会全日開催
 - ・ 女性大会独立開催
 - ・ 10周年記念表彰大会開催
 - ・ 記念誌「啓発10年～埼玉地区のあゆみ」発行



工場交流会



賛助会員研修会

発表はもちろん
大会運営も女性
中心で行いました



女性大会開催

●●● 埼玉地区飛躍の時代 ●●● (1986年～1995年)

年 度	主な活動	目で見える主な行事
1988年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛助会員会社400社超える ・ 全日本選抜大会金賞 (株)コーセー4度目受賞 (こだまサークル) 	 <p>第18回全日本QCサークル大会懇親会 選抜大会金賞の喜び こだまサークル</p>
1989年	<ul style="list-style-type: none"> ・ はぐくみ発表会をミニ発表会に名称変更 	
1990年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15周年記念大会・記念誌の発行 	
1991年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間接大会を拡大し、(事務、販売、サービス) JHS大会として開催 	
1992年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛助会員会社500社超える 	
1995年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉地区20周年記念大会・式典開催 ・ 地区のシンボルマーク公募 (株)コーセー サザンクロスサークルの作品) ・ No.4知って得するやさしいQC手法発刊 	 <p>埼玉地区20周年記念式典 特選論文を発表する フジノン(株)佐々木さん</p>  <p>埼玉地区シンボルマーク</p>

●●● 埼玉地区変革の時代 ●●● (1996年～2005年)

年 度	主な活動	目で見える主な行事
1996年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区ニュース年間7回発行 	 <p data-bbox="1077 840 1268 884">メンバー研修会</p>
1998年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛助会員会社拡大に向けた活動始める（バブル崩壊後激減 500社→330社） 	 <p data-bbox="949 1220 1396 1265">2地区（栃木、埼玉）合同部課長研修会</p>
1999年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会の充実（メンバー、リーダー、推進者、部課長） ・ 賛助会員会社代表者懇談会開催 	 <p data-bbox="1069 1624 1276 1657">代表者懇談会開催</p>
2000年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉地区25周年記念大会・行事開催 	 <p data-bbox="1029 2016 1316 2049">埼玉地区25周年記念大会</p>



大会で活躍する女性幹事



25周年記念無料出前行事

年 度

主な活動

目で見える主な行事

2001年

- ・ 埼玉地区のブロック制を廃止し、グループ輪番制に改革した。
(地区長会社の負担軽減)

2002年

- ・ 関東支部改善事例チャンピオン大会で富士電機(株)キルンサークル支部長賞金賞 (PN部門) 受賞

2003年

- ・ 関東支部改善事例チャンピオン大会でフジノン(株)ひまわりサークル支部長賞金賞 (JHS部門) 受賞

2005年

- ・ 春季発表大会にて埼玉県経営者協会会長賞受賞
富士電機機器制御(株)
おっちゃんサークル
ポラスグループ (株)中央ビル管理
スギ☆ウラofJoyToyサークル
- ・ 30周年記念大会にて埼玉県県知事賞受賞サークルが関東支部改善事例チャンピオン大会に出場！
めでたく両部門で金賞をダブル受賞！
富士電機機器制御(株)
あすなるサークル
(総合部門 支部長賞金賞)
フジノン(株) FCサークル
(事務、販売、サービス部門 金賞)



改善事例チャンピオン大会



30周年記念祝賀会



県知事賞授与



30周年記念改善事例選抜大会

QCCサークル活動と私の成長

私を育ててくれたQCC活動

富士電機機器制御株式会社 吹上事業所
製造部 第一製造課

クリーンアップサークル 吉原 広伸



◆QCC活動との出会い（きっかけになったひとこと）

吹上事業所は、QCC活動が従業員育成の柱の一つになっています。入社と同時に皆がQCC活動に参画する仕組みになっています。私は、1986年に入社。始めてQCC活動に出会いましたが、「魚の骨」「 $\bar{x}-R$ 管理図」等、何だろの毎日で、QCC会合が一番辛い時間でした。そんな私が本格的にQCC活動に興味を持ち始めたのは「若手リーダーを育成したい」とのことから、入社3年目にQCCリーダーを任された時です。月一回の上司の指導会で「吉原君のは、苦しい（QC）素通り（ストーリー）だね」と、冗談を交えながら「真剣に勉強してみないか」と言われたことがきっかけです。

◆ベテランのさり気ないアドバイスがステップアップに

QCC活動では新人の私に、ベテランの方がちょくちょく話しかけ、ラインの生産台数とか止まった場所とか対処方法など、経験からの情報を提供してくれました。この貴重な体験談を「なんでもメモに取る」ことを心掛け、これを整理しQC手法を学びながらQCストーリーの勉強をしました。やらされているという気持ちから、ベテランサークル員との出会いによって、少しずつQCC活動の仕組みを理解し、スムーズに自分のストーリーが作れるようになり、面白みを感じた時期でした。ここでのQC手法での問題・課題の解決は「改善をする力」の訓練

に役立つことを後に知ることになりました。

◆体験発表を通して（どこでも通じたQCC活動）

入社20年目の平成16年11月「埼玉地区改善事例チャンピオン大会」に出場する機会を得ました。「生産倍増への挑戦!!」で、他職場を巻き込みながら活動した改善事例を発表しました。私はプリント板組立職場からプレス作業職場へ転属したばかりで、いままで勉強してきたことが通用するのか不安がありましたが、学んできたQC手法での改善活動、上司そして先輩達に怒られながら指導を受けた事を思い出し、「スタッフとの対話の繰り返し」、「飲みニュケーションでストレス発散」をしながら障害を乗り越え、サークル員とスタッフが異体同心になったとき「生産倍増」という大きな成果を上げることができました。大会で審査員から「金賞、クリーンアップサークル」の声に感激したのを忘れません。この体験は、QCC活動はもちろん日常仕事をする上でも大きな自信になっています。

◆今後について（経験を若手メンバーへ）

今の私にとってQCC活動は、改善活動を助ける大切な“ともだち”の様な存在です。更に勉強し、この“ともだち”との親交をもっともっと深めていきたいと思えます。先輩から培ったノウハウに磨きをかけ、若手メンバーと共に厳しい中にも楽しいQCC活動に心掛け、能力向上・自己実現に向け頑張っていきます。

思いやりと工夫があれば楽しくできる

株式会社 コーセー 狭山事業所
狭山工場 生産課
さくら草サークル

早坂 光江



平成6年、ATM活動（明るく楽しく皆で）の活動が始まり、アルバイトだった私達もQC活動に参加することになりました。

正規1名・レギュラーパート1名以外は全員アルバイト、10時から4時迄という勤務形態で、全員残って会合を開く事などできず、時間内活動と昼休み時間を利用しての活動が主でした。

私たちは改善提案を書くことから始めましたがうまく書けず、どのような所に目をつけていいのかもわかりませんでした。困っていると改善提案が書けるようにとチーフが勉強会を開いてくれました。初めてのミニ発表会にはそれを活かしたテーマで発表しようと、結成したてのさくら草サークルは、ベテランの先輩を中心に一生懸命テーマに取り組みました。定年退職したその先輩の後を継いで何も解らない私がサークルリーダーとなり、何から始めたらいいのか悩んでいる時に、メンバーが二つに分かれ新たにベテラン4人が新しい仕事と一緒に異動して来ました。仕事の内容も変わり、仕事もサークルも拍車が掛かった事はいうまでもありません。何をやればいいのか、テーマはどう進めていくのか、人間関係もばらばら、どうすればうまく活動していけるのか悩み、泣いた事もありました。そんな時 “始めから何でもうまく出来る人なんかいないわよ” とベテランの先輩に言われ

“ああ～そうだ一人で抱え込むからできないんだ、解らない事があつたら何でも聞こう、メンバー全員とよく話し合おう” と自分の中で決め活動して行く事にしました。仕事は難しく新人となってしまった私達にベテラン達は一つ一つ現場で仕事のノウハウを教えてくれました。

その後、ベテランと一緒に取り組んだテーマが全社大会で金賞を受賞する事ができました。定年で退職した先輩とのやり取りがとても懐かしく思い起こされます。平成15年全日本選抜に出場することになり私達は始めての大舞台にハラハラドキドキ、声は時々震えていました。この年になってこんな経験するなんて思いもしませんでした。今になってみれば懐かしい思い出になりました。テーマに取り組むたびに勉強会を開いてくれた上司に想われ、ここまで来る事ができ今は更にメンバーも新しく変わりつつあります。先輩から受け継いできたノウハウを今度は私たちが新しいメンバーに伝える番です。

今、社内のQC教育では、私もインストラクターとなってサークル活動の応援をしています。そこに参加するメンバーは多くの方が長期アルバイトです。この人達もきっと、私と同じ思いをする時がくると思います。そんな彼女達に “思いやりと工夫があれば楽しくできる” と笑顔で言える自分でありたいと思います。

QCサークル活動が私達を成長させてくれた

フジノン株式会社

テレビレンズ部技術課

ひまわりサークル 吉澤 延子



◆QCサークルってなんなの

今から約20年程前、ある日突然上長が「QCサークル活動を始める」と言いました。QCサークル？何のこと？全然分かりませんでした。勉強をしながら活動を始めはしましたが、QCストーリー、QC手法等何も分からないままでしたが活動はなんとか完結できました。「ホッ」としたのもつかの間、部の代表として第1回QCサークル社内発表大会に出場することになったのです。自信は全然ありませんでしたが思い切り発表しました。結果は、なんと金賞を受賞してしまったのです。その感激は今も忘れませんが、この時の受賞は、私達の方ではなかったと思います。上長の手取り足取りのアドバイスなしではとても無理だったと思っています。

◆それからの私達は

リーダーの私はこれではいけないと考え、QCの七つ道具・SQC手法等の社内講習会受講や本等で猛勉強しました。そして忘れないうちにQCサークル活動で実践活用しました。今度は自分達の力で運営でき、社内発表大会に部の代表として何回も出場する常連となりました。しかし、何回出場しても金賞を受賞することが出来ません。

◆何故だろう

“金賞サークルと何が違うのだろう”私もメンバーも暗中模索の状態になってしまいました。あるメンバーから「リーダー独りで頑張っているだけじゃないのかな」と言われ、そういえば必要なことだけをメンバーに頼み一緒に悩み・苦労していませんでした。すぐにメンバーと勉

強会や何でも話し合い会合を数ヶ月行いました。

結果は一人ひとりが自主的に行動できるようになりました。

こうして成長したメンバーに「真剣にチームワークよく活動していこうね」と私の想いを伝えました。本当の「ひまわりサークル」になるまでPDCAをまわして、粘り強く活動をしました。

◆関東支部改善事例チャンピオン大会出場での感激

軌道にのったひまわりサークルは関東支部改善事例チャンピオン大会にも出場しました。残念ながら銀賞でしたが、翌年も関東支部改善事例チャンピオン大会に出場のチャンスを戴き「今年こそ金賞を目指し頑張ろう」と事務局、上長のアドバイスを受けながらメンバー一丸となって、発表内容を分かり易くし、毎日遅くまで発表の練習をしました。その結果、JHS部門で念願の支部長賞金賞を戴くことができました。大会終了後、埼玉地区の方々や事務局の方から「おめでとう」「本当に良かったね」と声を掛けられた時は、感激で胸がいっぱいになってしまいました。

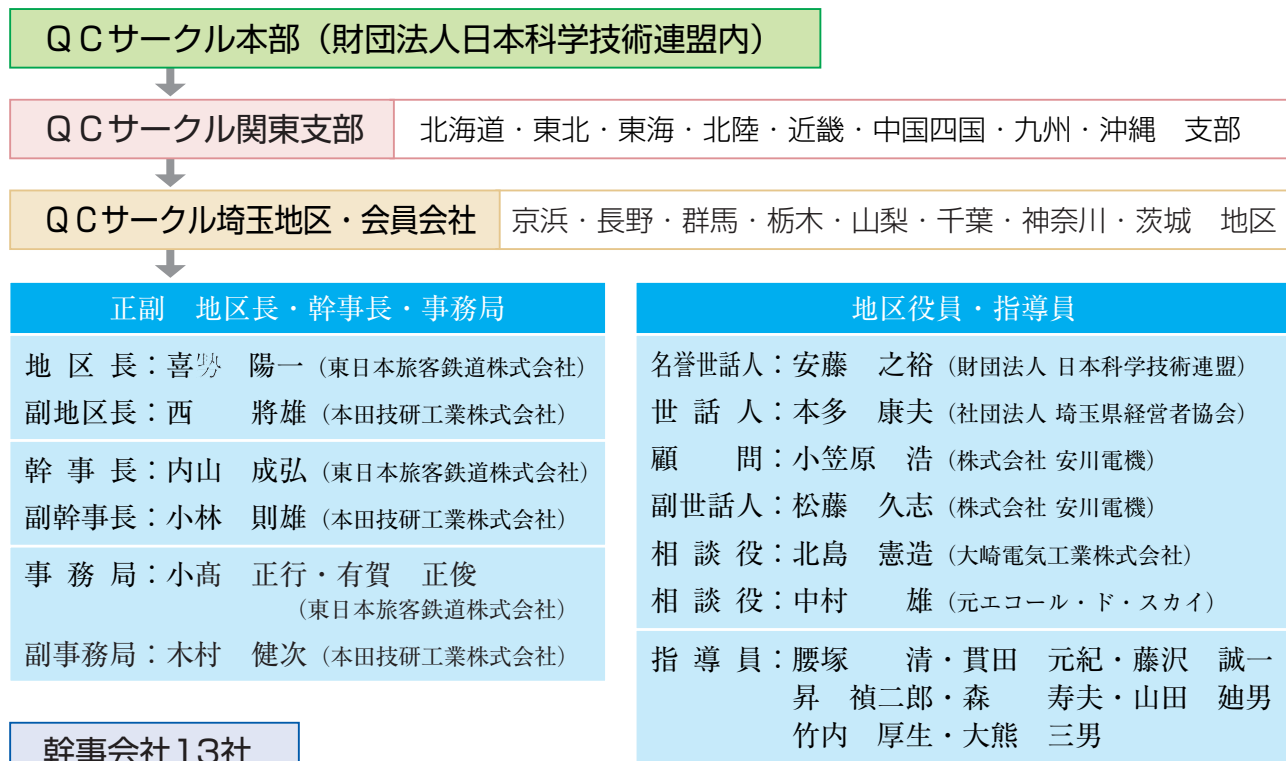
◆本物のQCサークル活動って本当にいいよね

私達の仕事は、主に受入検査を行っています。購買先を巻き込んだQCサークル活動を行ってきた結果、購買先との関わりを多く持つようになりました。購買先への出張検査や不良対策を購買先と直接できるようになり、仕事の幅が広がり、皆自信を持って仕事をしています。真剣に取り組んだQCサークル活動が私達を成長させてくれました。

「新たなステージへ」

QCサークル関東支部埼玉地区の組織と役割

◆ 2006年度 QCサークル埼玉地区組織図 ◆



◆ グループ機能別役割分担表 ◆

グループ名称	会社名	主なる推進事項
大会 ミニ企画 グループ	◎フジノン(株) ○富士重工業(株) 本田技研工業(株) (有)エム・アイ・キュー 大崎電気工業(株) ポラスグループ(株) 東日本旅客鉄道(株)	①大会・ミニ企画運営の推進及びそれらに関する改善答申 ②年間行事計画・予算計画案の審議及び答申 ③審査表彰に関する調査研究及び改善 ④年間審査員の選考答申 ⑤審査表彰に関する規定改廃の審議答申 ⑥審査員の育成 ⑦その他大会・ミニ企画に関する事項
研修 グループ	◎(株)安川電機 ○(株)コーサー 日産ディーゼル工業(株) 本庄防災設備 職場活性化研究所 富士電機機器制御(株)	①研修会運営の推進及びそれらに関する改善答申 ②年間行事計画・予算計画案の審議及び答申 ③手法の研究、ノウハウの整備に関する検討 ④各種研修会のあり方についての審議答申 ⑤その他研修会に関する事項
運営 グループ	◎東日本旅客鉄道(株) ○本田技研工業(株)	①地区規定・標準類の制定・改廃の審議答申 ②新任幹事の育成（審査・行事運営等） ③会員の相談窓口 ④本部・支部との窓口業務 ⑤その他 地区運営全般に関する事項

QCサークル埼玉地区

2006年度 活動内容紹介

進化する小集団活動『e-QCCビジョン』を尊重した埼玉地区の活動

e-QCC（進化する小集団活動）を実践する上で、常に変化の先端に立ち、効果的な推進を図り、現場力を強化・構築することを目指します。特に事務、販売、サービス、医療、福祉関係の新たな開拓を目指します。

運営グループの2006年度活動内容

- ・ 経営者、管理者を対象に各行事の招待枠を設け、地区活動への理解と普及拡大を目指します。
- ・ 幹事のスキルアップ研修を企画し、会員会社の方に参加を呼びかけ、共に埼玉地区のレベルアップを図ります。
- ・ 他地区との事業所見学会などを開催し、より魅力ある行事の開催を目指します。



埼玉県経営者協会総会でのモデルサークル発表風景



京浜・神奈川地区との事業所見学会



コーチングセミナーによる幹事教育風景

大会・ミニ企画グループの2006年度活動内容

- ・ 夏季発表会、ワイガヤ発表会では新たにミニ研修を開催し、発表者、参加者のスキルアップを目指します。



ワイガヤ発表会によるグループ討議風景

研修グループの2006年度活動内容

- ・ 事務、販売、サービスや、医療、福祉企業にも参加しやすい選択型研修会を開催します。
- ・ 時代の変化に対応した新QCストーリーの研修会を企画します。



各研修風景

2005年度会員会社一覧 (2005年度12月現在)

会社名・事業所名		会社名・事業所名		会社名・事業所名	
1	(株)アールケー・エキセル埼玉工場	42	埼玉第一製菓(株)	83	日本地工(株)本社 工場
2	(株)アーレスティ熊谷工場	43	サイボー(株)	84	日本電業工作(株)
3	(株)アイチコーポレーション上尾事業所	44	三洋工業(株)久喜工場	85	日本フェルト(株)埼玉工場
4	赤司製線(株)	45	シーアイ化成(株)上尾工場	86	日本マタイ(株)埼玉工場
5	曙ブレーキ羽生製造(株)	46	(株)ジー・エフ・フードサービス富士電機吹上営業所	87	日本山村硝子(株)埼玉工場
6	朝霞伸管工業(株)	47	J F E 建材(株)熊谷工場	88	(株)ネオス東松山U C 工場
7	旭鋼管工業(株)	48	ジェコー(株)本社	89	東日本旅客鉄道(株)大宮支社
8	旭産業(株)	49	品川電線(株)本社工場	90	日立金属(株)熊谷事業所
9	旭松食品(株)埼玉工場	50	社会福祉法人ともいき会川越身体障害者センター	91	フィグラ(株)埼玉工場
10	飛鳥交通(株)	51	城南コーテック(株)児玉工場	92	富士化成(株)
11	アルバック成膜(株)	52	職場活性化研究所	93	富士重工業(株)産業機器カンパニー
12	(株)アルビオン埼玉大里工場	53	信越ポリマー(株)東京工場	94	藤田金属(株)関東支店
13	(株)池田硝子工業所	54	新元元工業(株)	95	富士電機エフテック(株)
14	入間川ゴム(株)本社工場	55	新日本無線(株)川越製作所	96	富士電機機器制御(株)吹上事業所
15	岩崎電気(株)埼玉製作所	56	スカイサービス(株)	97	富士電機情報サービス(株)吹上事業所
16	SMC(株)草加工場	57	杉田電線(株)	98	富士電機リテイルシステムズ(株)埼玉工場
17	エヌエスアドバンテック(株)埼玉事業所	58	ゼオンポリミクス(株)川越事業所	99	フジノン(株)
18	(有)エム・アイ・キュー	59	大正製薬(株)大宮工場	100	フジミ工研(株)滑川工場
19	遠州トラック(株)関東事業部	60	大同メタル工業(株)埼玉工場	101	古河スカイ(株)製板事業部深谷工場
20	大崎電気工業(株)埼玉事業所	61	大日本インキ化学工業(株)埼玉工場	102	べんてる(株)吉川工場
21	(株)角田鉄工所	62	タカギーブイ(有)	103	べんてる(株)草加工場
22	河西工業(株)寄居事業部	63	(株)タカタ・トランスポートサービス	104	(株)ボッシュオートモーティブシステム東松山工場
23	片倉工業(株)加須工場	64	T A C O(株)埼玉工場	105	ポラスグループ(株)中央住宅
24	カヤバ工業(株)熊谷工場	65	(株)タジマ埼玉工場	106	(株)本庄防災設備
25	カルソニックカンセイ(株)児玉工場	66	(株)秩父富士	107	本田技研工業(株)埼玉製作所
26	カルソニックカンセイ(株)吉見工場	67	中央化学(株)本社工場	108	(株)まるおか
27	関東化学(株)草加工場	68	通信興業(株)川越工場	109	三井金属鉱業(株)銅箔事業本部上尾事業センター
28	関東物流(株)草加事業所	69	(株)椿本チエイン埼玉工場自動車部品事業部	110	三菱電線工業(株)熊谷製作所
29	(株)キムラ電子	70	電気興業(株)川越事業所	111	三菱マテリアル(株)セラミックス工場
30	(株)協栄製作所埼玉工場	71	東京電力(株)埼玉支店	112	三芳合金工業(株)
31	(株)京樽 外販事業部	72	東和電気(株)川越事業所	113	(株)ヤクルト本社 茨城工場
32	航空自衛隊入間基地第2輸送航空隊	73	(株)トーツー創研	114	(株)安川電機入間事業所
33	(株)コーサー狭山事業所	74	トッパン・フォームズ・サービス(株)	115	(株)安川ロジステック東部事業部
34	医療法人秀峰会 越谷吉伸病院	75	(株)七星科学研究所狭山工場	116	山川工業(株)大里工場
35	(株)コスメラボ	76	日板パッケージ(株)埼玉工場	117	(株)吉野工業所本社
36	寿屋フロンテ(株)埼玉工場	77	ニチバン(株)埼玉工場	118	理研ビタミン(株)草加工場
37	コニカミノルタテクノプロダクト(株)本社・狭山	78	日機装(株)東村山製作所	119	リズム時計工業(株)
38	コマツゼノア(株)本社・川越工場	79	日産ディーゼル工業(株)	120	ロックペイント(株)東京工場
39	コロコート(株)オプトロニクス事業本部埼玉第一工場	80	日本精工(株)埼玉工場	121	(株)ワイ・イー・データ
40	埼玉工業(株)	81	日本ワイバブレード(株)	122	Y K K スナップファスナー(株)上尾工場
41	埼玉ゴム工業(株)	82	日本クリンゲージ(株)草加工場	123	和光純薬工業(株)東京工場

歴代地区長会社・役員・指導員一覧 (2001年～2005年)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年		
名誉世話人		安藤之裕					
世話人	安藤之裕	本多康夫					
顧問	平川松雄	石橋明	中村雄	高橋憲二	坂井貢		
副世話人	北島憲造	青山豊	中村雄	須藤ゆかり	大熊三男		
相談役		北島憲造					
				中村雄			
地区長会社	富士電機	エコー・ド・スカイ	コーセー	富士重工業	安川電機		
地区長	石橋明	中村雄	高橋憲二	坂井貢	小笠原浩		
幹事長	青山豊	中村雄	須藤ゆかり	大熊三男	松藤久志		
事務局	根岸達雄		佐藤静子	西岡妙子	安部晴雄		
	田島英夫		堀川鈴恵	井上勝	安本貴代		
	柏倉日都子						
副地区長会社	エコー・ド・スカイ	コーセー	富士重工業	安川電機	JR東日本		
副地区長	中村雄	高橋憲二	立花房雄	坂井貢	武田清美	喜勢陽一	
副幹事長	中村雄	須藤ゆかり	武藤逸朗	大熊三男	樋口善久	松藤久志	内山成弘
副事務局	石山昭治	佐藤静子	松本茂夫		安部晴雄	小高正行	
	星野章			西岡妙子	安本貴代	有賀正俊	
	中村朝子			井上勝			
指導員	星野章						
	倉上暉吉						
	菅原忠男						
	貫田元紀		貫田元紀				
	藤沢誠一						
	森寿夫						
	中村朝子						
	石山昭治						
	渡辺宗晴						
	昇禎二郎						
	平野雅由						
	田尻忠正						
			山田迪男				
			腰塚清				

歴代幹事会社・幹事一覧（2001年～2005年）

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
富士電機機器制御(株) 吹上事業所	田島英夫				
	根 岸 達 雄				
	柏倉日都子	高橋日都子			木村 茂
					小泉洋子
(株)コーセー 狭山事業所				中園実季	
	筒井正美	村川憲司	堀川鈴恵	村川憲司	須藤ゆかり
	高橋静子	佐藤静子			
富士重工業(株) 産業機器カンパニー	平岩 満			西 岡 妙 子	
	杉野俊哉	武藤逸朗		井上 勝	
		松本茂夫			小林和浩
(株)安川電機 入間事業所	安 部 晴 雄				
	生山武史		樋口喜久	安本貴代	
	安本貴代				
東日本旅客鉄道(株) 大宮支社	石 井 宏 史				
	有 賀 正 俊				
			内山成弘		小高正行
本田技研工業(株) 埼玉製作所	竹内厚生		久保武夫		
	井上義男			仲田匡一	
		小川秀郷			金崎紀子
	佐 藤 庄 侍				
大崎電気工業(株)	藤沢誠一	奥 田 一 夫			
	太田直美				
フジノン(株)	新 井 道 夫				
(株)本庄防災設備	武 井 亀 代 子				
	渡 辺 早 苗				
日産ディーゼル工業(株)	腰 塚 清				
	葛 西 寛				
職場活性化研究所	渡 辺 孝				
(有)エムアイキュー	村 精 治				
	山田迪男				
ポラス(株)				加藤久幸	内田美由喜
					安藤真由美
古河スカイ(株)製板事業部 深谷工場	滝 日 繁				
	吉田 明				工藤 均
エコール・ド・スカイ	中 村 雄				
日機装(株) 東村山製作所	鈴木正明	宮島邦臣			
			細田和子		
カヤバ工業(株) 浦和工場	鶴城啓二				
	遠藤弘一				
	斉藤哲男				
ぺんてる(株) 草加工場	増田康弘				
	菅原准一				